

# 価値創造プロセス

## グループ理念 「ずっと先まで、明るくしたい。」 P01

カーボンニュートラルビジョン2050 P08

経営ビジョン2030 P08

ステークホルダーとの価値協創

### 外部環境[社会課題、事業環境変化]

- ・気候変動
- ・テクノロジー
- ・人口構造
- ・経済・政策
- ・資源枯渇
- ・地政学的リスク

### INPUT

定性	定量
<b>製造資本</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・S+3Eに寄与する電源ミックス</li> <li>・送配電設備</li> <li>・情報通信設備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発電設備* 総出力 1,745万kW 発電所数 229か所</li> <li>・送電線路こう長 11,223km 配電線路こう長 144,198km (九州電力送配電)</li> <li>・情報通信設備 通信ケーブル(光ファイバ、メタルケーブル) こう長20,234km(九州電力送配電)</li> </ul> <p>※：九電グループの発電設備容量(出資案件は出資持分ではなく開発容量を計上)</p>
<b>人的資本</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギーサービスに係る豊富な人財(技術者)</li> <li>・九電DNA (九州のインフラを支える強い使命感)</li> <li>・グループ経営管理体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員数 21,096名(連結)</li> <li>・技術部門人員割合 68% (九州電力及び九州電力送配電)</li> </ul>
<b>知的資本</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼロエミ電源(原子力・再エネ等)の開発・安全安定運用に関する実績・ノウハウ</li> <li>・その他幅広い専門分野での知見・ノウハウ</li> <li>・R&amp;D体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KYUDEN+PROJECT参加者数(延べ) 約1,200名(九電グループ)</li> <li>・特許保有件数 国内 168件、海外 70件 (九州電力及び九州電力送配電)</li> <li>・重要資格*取得者数 1,101名 (九州電力及び九州電力送配電)</li> </ul> <p>※：電気事業の運営に必要な不可欠な種別な公的資格(電気主任技術者(第1種)、原子炉主任技術者等)</p>
<b>社会・関係資本</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州でのブランド力</li> <li>・地域社会との信頼関係</li> <li>・取引先、協会会社等との協力関係</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さま口数 784万口(九州電力)</li> <li>・包括連携協定締結数 47自治体(九州電力)</li> <li>・登録取引先数(資材調達) (2023年7月末時点)約3,070社 (九州電力及び九州電力送配電)</li> </ul>
<b>財務資本</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資本</li> <li>・現金</li> <li>・有利子負債</li> <li>・資金調達力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資本 2,373億円(連結)</li> <li>・現金 2,954億円(連結)</li> <li>・有利子負債3兆9,915億円(連結) (うち、社債残高1兆6,600億円 (ハイブリッド社債2,000億円含む))</li> </ul>
<b>自然資本</b> (2022年度)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・化石燃料(原子力)、化石燃料(火力)</li> <li>・再生可能エネルギー</li> <li>・水(発電用、オフィス用)</li> <li>・森林</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化石燃料消費量(石油換算)約822万kℓ (九州電力及び九州電力送配電)</li> <li>・再エネ・FIT電源による電力量* 180億kWh(九州電力)</li> <li>・発電用水 609万トン (九州電力及び九州電力送配電)</li> <li>・社有林(2022年度末)4,447ha (九州電力)</li> </ul> <p>※：九州電力の発電電力量における数値</p>

(注)時点記載のない定量データは2022年度末時点の実績

### 九電グループの マテリアリティ P09

脱炭素社会の  
牽引  
P43~58

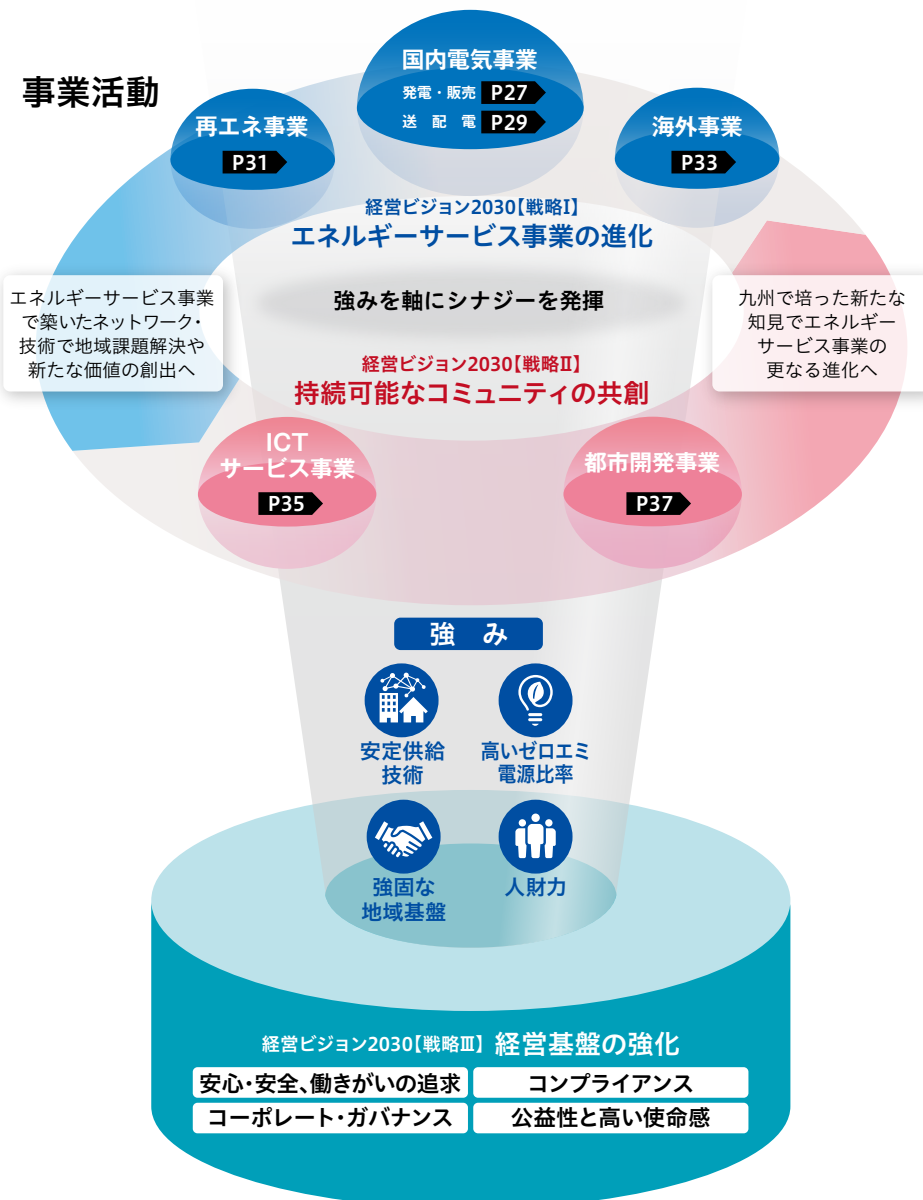
エネルギー  
サービスの  
高度化  
P59~61

スマートで  
活力ある  
社会の共創  
P62~63

多様な人財の  
育成と  
活躍推進  
P68~76

ガバナンス  
の強化  
P77~89

### 事業活動



### OUTPUT

- 製品・サービス**
- ・非化石電源比率
  - ・再エネ開発・受入
  - ・低廉な電気料金(発電原価の低減)
  - ・電力の安定供給
  - ・お客さまのニーズに応じたエネルギーサービス
  - ・地域・社会の課題解決に資する事業・サービス  
(ICTサービス・都市開発等)

- 財務成果**
- ・売上高
  - ・経常利益
  - ・自己資本比率
  - ・フリー・キャッシュ・フロー
  - ・ROE
  - ・適正な株主還元

- 社会・環境への影響**
- ・社会・環境への負荷低減(温室効果ガス、規制への対応、廃棄物のゼロエミッション活動)
  - ・カーボンニュートラルに向けた取り組みの着実な進展
  - ・地域との交流・対話
  - ・情報(サイバー)セキュリティ対応

- 株主・投資家**
- ・配当金支払額(総額)105億円(連結)
  - ・支払利息(債権者への利払い額) 279億円(連結)

- 従業員**
- ・労働災害事故発生割合<sup>※3</sup> 0.06件  
(九州電力及び九州電力送配電)
  - ・離職率<sup>※4</sup> 0.93%  
(九州電力及び九州電力送配電)
  - ・女性管理職新規登用数 16名  
(九州電力及び九州電力送配電)
  - ・従業員満足度<sup>※5</sup> 80.4%  
(九州電力及び九州電力送配電)

- 地球環境**
- ・GHG排出削減率(国内外)<sup>※6</sup> 26%  
(九電グループ)
  - ・産業廃棄物リサイクル率 約100%  
(九州電力及び九州電力送配電)

### OUTCOME

- お客さま**
- ・総販売電力量(小売、卸売、海外) 約1,100億kWh(九電グループ)
  - ・ゼロエミ・FIT電源比率<sup>※1</sup> 43%  
(九州電力)
  - ・電力の安定供給
  - ・お客さま一軒あたりの平均停電回数<sup>※2</sup> 0.15(0.04)回  
平均停電時間<sup>※2</sup> 115(3)分  
(九州電力送配電)
  - ・新築オール電化採用率 35.7%  
(九州電力)
  - ・お客さまアンケートにおける九電グループへの信頼度 74.8%

- 地域社会**
- ・域内総生産(名目) 約48兆円(2021年度)
  - ・約3万人の地域の方々とのコミュニケーション活動  
(九州電力及び九州電力送配電)
  - ・地域・社会共生活動への従業員延べ参加数 約34,000名(九電グループ)
  - ・九州エリアでの都市開発案件参画 6件(九電グループ)

※1：九州電力の発電電力量及び他社から調達した電力量に占める比率を示したものであり、非化石証書取引前の数値。このうち、非化石証書を使用していない部分は、再エネとしての価値やCO<sub>2</sub>ゼロエミッション電源としての価値は有さず、火力発電などを含めた全国平均の電気のCO<sub>2</sub>排出量を持った電気でして扱われる。  
 ※2：カッコ内は台風等災害除去の実績  
 ※3：100万延べ労働時間あたりの有休災害件数  
 ※4：「自己都合退職者数/期首社員数」×100  
 ※5：従業員満足度調査(2022年度実施)における「満足層」の割合  
 ※6：サプライチェーンGHG(Scope1~3、2013年度比)。九州電力及び連結子会社(排出量が僅少な企業を除く)について算定

(注)時点記載のない定量データは2022年度の実績